成田 あれ・これ

令和８年12月号　第378号

発行：成田市観光協会
成田市花崎町８３９
０４７６－２４－３１９８

成田山新勝寺　納め不動
納め札お焚き上げ柴灯大護摩供

成田山では、今年1年間、御加護いただいた不動明王の御分身である御護摩札や御守を、お不動さまの智慧の炎にお返しして感謝を捧げる古札のお焚き上げが、12月28日（月）に執り行われます。

燃え上がる智慧の火炎は、あらゆる罪障や災いを焼き尽くすと言われ、師走の天を焦がします。

大小約3万体の御札のお焚き上げが執り行われます。

【日　時】12月28日（月）10時30分～　【場　所】成田山新勝寺 奥山広場

【お問合せ先】成田山新勝寺　TEL　0476－22－2111（8時～16時）





宗吾霊堂　除夜の鐘



大晦日に除夜の鐘をついて、厳かに新年を迎えてみませんか？　今年1年を振り返り、新年に想いをはせる。自らの手でついた除夜の鐘の音は、心に響く音色となるのではないでしょうか。

【日　時】12月31日（木）
鐘つき始め：24時～先着108名様

【場所・お問合せ先】
宗吾霊堂　TEL　0476－27－3131

☆成田山歳時記～師走～☆

何かと忙しい師走。師走とは、師が馳せる（走る）月。忙しさのあまり「師」、つまり先生やお坊さんも走り回るほどに忙しい月という説があります。

古くから日本では、12月はお正月の歳神様を迎える準備をする月と考えられてきました。歳神様は、稲作の神ですが福の神でもあり、きちんと失礼のないようにお迎えすることで福が頂けるといわれています。正月に門松やしめ飾り、鏡餅を飾るのは、すべて歳神様を心から歓迎するための準備なのです。12月13日は、正月の事始めともいい、歳神様をお迎えする神棚をはじめ、家中を掃除して清めます。

成田山での煤払いも12月13日（日）に執り行われます。日の出前、朝護摩にて御本尊様に煤払いの奉告をし、僧侶が御本尊不動明王の御身拭いを行います。この後、約10mの長い笹竹を使って天井や大欄間の煤が取り払われ、大本堂内296畳の畳を掃き清めます。その他、仏像御身拭いや仏具磨きなど、終日にわたって境内伽藍の清掃が行われます。

12月20日～28日にかけては「年設け」といい、新年を迎えるために必要なものを準備します。



12月25日（金）、成田山では、大しめ縄飾りが取り付けられます。巨大なしめ縄は、横6．6m、縦1．5m、重さ200kgという大きさです。『照範（しょうはん）じめ』といわれる成田山独特の編み方は、江戸時代に中興第一世の照範上人が、五穀豊穣を祈願して作った事が始まりとされています。

約2ヶ月間かけて制作された大しめ縄は、クレーン車を使って大本堂前の約6mの支柱に取り付けられます。



お正月を代表する食物といえばお餅！稲作文化の日本において、稲を育ててくれる太陽の力は、とても重要でした。新しい年の始まるお正月には、太陽に似せた丸い形のお餅、「鏡餅」を神様に御供えしました。そして新年の豊作を祈ったのです。

12月26日（土）、成田山では、御本尊様への正月の御供用に恒例の餅つきが早朝より行われます。午前2時、竈に火が入り8俵（約480kg）にもなる餅米をせいろで順番に蒸し上げ、午前4時頃から、光輪閣総受付脇でお餅がつかれます。次々とつかれた御供餅は御本尊不動明王をはじめ、境内諸堂に御供えされます。

☆成田観光館からのお知らせ☆

年末の休館日について、**12月28日（月）～12月31日（木）は、休館**とさせていただきます。
1月中は元日より毎日開館いたします。 なお、JR 成田駅（参道口）にある成田市観光案内所は、年末年始営業しています。
【成田観光館】 9時～17時　月曜日（月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌日休館）、1月は無休です。
【お問合せ先】 成田観光館　TEL　0476－24－3232

【成田市観光案内所】 8時30分～17時15分　無休
【お問合せ先】 成田市観光案内所　TEL　0476－24－3198

☆イベント等の関連情報については、FEEL成田（https://www.nrtk.jp）をご覧下さい。☆